

保護者のみなさまへ

瀬戸市立萩山小学校長 杵 洸 家

## 平成26年度「学校評価」について

本年度の学校評価として、保護者のみなさま・児童および職員を対象にした「学校評価アンケート調査」の集計結果と概要について、お知らせします。

### 本校の学校教育目標

校訓「明るく 素直で たくましく」

基礎・基本な知識・技能を身に付け、目標に向かって努力する子  
人と交流し、話を聞き、協力・協調のできる子  
心身共に健康で、進んでことにあたり、粘り強く取り組む子

#### \* 本年度の重点努力目標

- 心を育てる指導の充実・体験活動・異学年交流・行事
  - ・ いじめを許さない環境づくりをとおして心を育てるとともに、学校を休まない習慣づくりの指導と充実を図る。
  - ・ ソーシャルスキルトレーニングをとおして、ルールとマナーを身につけさせる指導の充実を図る。
  - ・ 他の国の異なる文化との共存。養護学校や地域との交流から共に学び、集うことで、協力や協調、自他を大切にできる心を育む指導の充実を図る。
- 基礎学力の保証
  - ・ 「読み・書き・算」の基礎学力を確実に習得させる。また、学力分析にもとづいた指導法の研究や研修を深める。
  - ・ 朝学習、チャレンジタイム等で繰り返し学習の指導と充実を図る。
- 総合的な学習の充実
  - ・ 総合的な学習や横断的な学習等を地域学習との関連のもとに進める指導の充実を図る。
- 学習態度・学習環境
  - ・ 「返事、あいさつ、あとしまつ」(躰三原則)を進め、学習規範作りを図る。
  - ・ 学習にふさわしい校内掲示、教室環境、学習にふさわしい教材・教具および児童の持ち物を共通した認識のもとに指導を進める。
- 体力の向上
  - ・ 教育活動全体を通じた体力づくりに心がける指導を進める。
  - ・ 健康を守るための意識を高揚させる指導を進める。
- 家庭との連携
  - ・ 家庭との連携を密にし、生活の基盤づくり・基本的な生活習慣確立・学習習慣づくりを目指した指導を進める。

#### \* 学校評価の目的

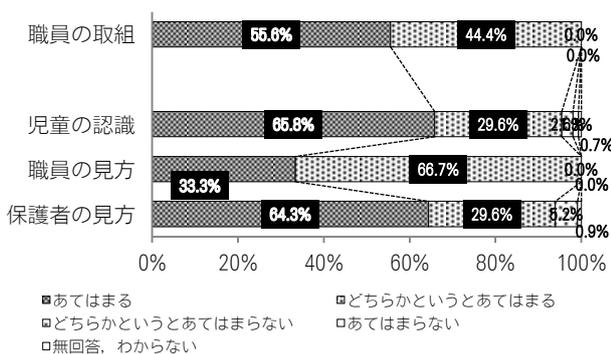
- 子ども達の健やかな成長を目指して、学校が目標を持って教育活動に取り組み、その達成状況を検証することで、改善を図ります。
- 結果を公表し、保護者や地域住民のご理解を得て、学校・家庭・地域の連携と協力による学校づくりを目指します。

\* 今回のアンケートについて

- 今回は、121世帯中89世帯の方から回答を得ました（回収率 73.6%，ちなみに昨年度は 72.8% でした）。たくさんのご回答をありがとうございました。
- みなさんの回答の傾向をわかりやすくとらえるために、保護者・児童・職員で似たニュアンスの設問をし、職員の取組、児童の認識、職員や保護者の見方（職員・保護者からみた子ども達の現状）についてグラフにしました。ただし、保護者、児童、教職員の集計結果の単純な比較から共通点や有意性を論ずることはできません。あくまでも傾向としてお考えください。

1 学校生活について

学校生活への満足感【学校でみんなと一緒に勉強したり、遊んだりすることが楽しい】

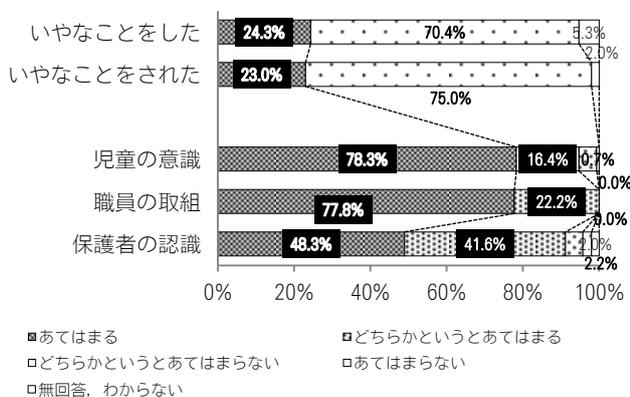


萩山小学校の児童は、学校が好きです。毎年度、児童・職員・保護者の回答の傾向がほぼ同じです。プラスの回答が90%を超えます。もちろん学校生活は、楽しいことばかりではありません。学習や生活、友達関係で悩むことは必ずあります。それでも、学校へ足が向き、課題を解決し、乗り越えていくこと、また、別の楽しいことが見つけられることが大切と考えます。

児童のマイナス回答が0に近づくよう、ご家庭と共通の認識を持ち、子どもの気持ちに寄り添い、支援ができるようにしていきたいと考えます。

2 いじめと人権教育について

【いやなことをした・された】と【人権意識の高まり「どんなことがあってもいじめはいけない】



昨年度の結果と比べると、よい方向への変化がいくつもあります。

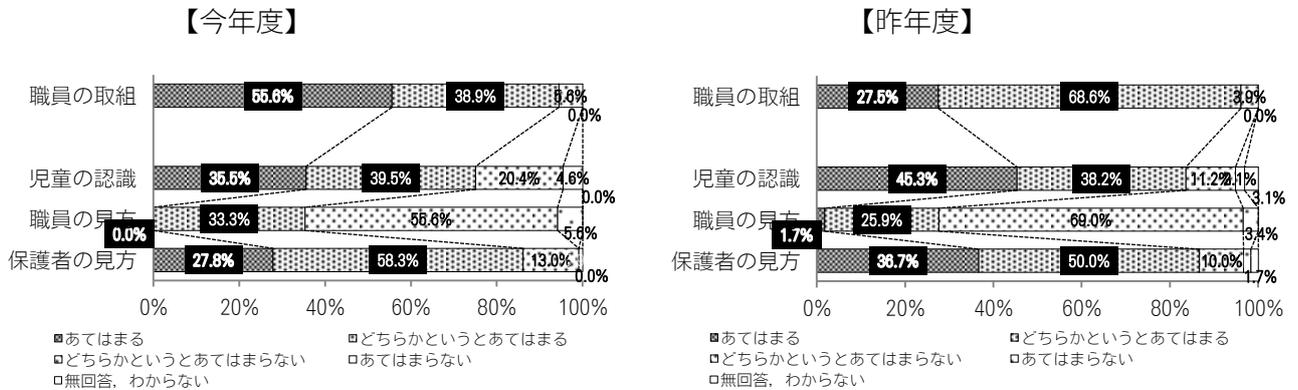
いやなことをされた児童の割合は3人に1人から4人に1人になりました。いやなことをした児童の割合は5人に1人から4人に1人になりました。これは、いやなことをしていることに気がつき、いやなことをしない児童が増えた結果と考えられます。いじめにつながる方向に児童全体の意識が向いていると考えられます。

児童の意識・職員の取組・保護者の認識のグラフは、設問【いじめはどんなことがあってもいけない】についての回答結果です。児童の「満足」「どちらかという満足」を合計した回答が昨年度の91.1ポイントから94.7ポイントに上がりました。意識の変化が感じられます。また、保護者のみなさまの学校の取組の認識も、プラスの回答が昨年度の75ポイントほどから90ポイント近くまで増加しました。全体の傾向はよい方向に向いています。職員と保護者のみなさまの見方が同じ傾向にあり、同じ認識を持って、いじめや人権教育に対応できることを心強く感じます。この結果に安心をして、指導がおろそかにならないよう、常に高くアンテナをはり、ささいなことも見逃さないようにしていきたいと考えます。特に今後、スマホ等を利用したメールやラインによるトラブルが心配です。学校は、いじめに関して早期発見と指導を心がけていきます。以前より、トラブルがあれば、全職員で迅速に指導する体制を整えています。ご家庭でも、何かお気づきのことがあれば、すぐに学校へご連絡をください。

3学期に入り、瀬戸市のいじめ防止対策基本方針が発表されました。これに基づいて、萩山小学校のいじめ防止の基本方針を、後日、お伝えします。

### 3 学校で学習したことが身についている。

- 保護者・職員
  - ・ 子どもには、学校で学習したことが身についている。
- 児童
  - ・ 学校で勉強したことがよくわかっています。



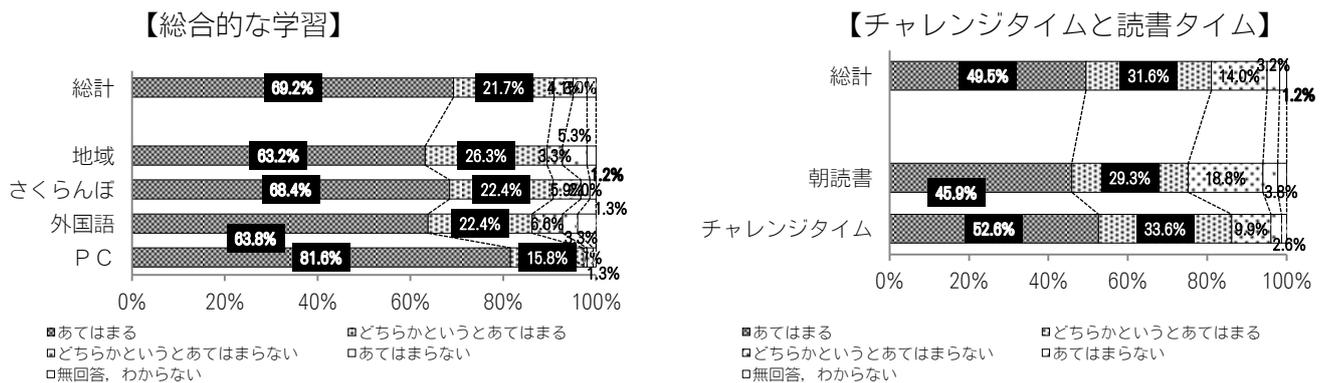
今年度と昨年度の結果を並べました。

昨年度の結果と比較して、職員の見方や取組のプラス回答が増え、児童の認識・保護者の見方のマイナス回答が増えたことが、よい方向への兆しと考えます。

毎年度、学力テスト等の結果からも力をつけさせたい課題が数多くあること、それでも、「分かっている」と回答する児童が多いことを、この場でお伝えしてきました。できてほしいことが身につけいないのに、できた気になっている児童が多い傾向がみられます。

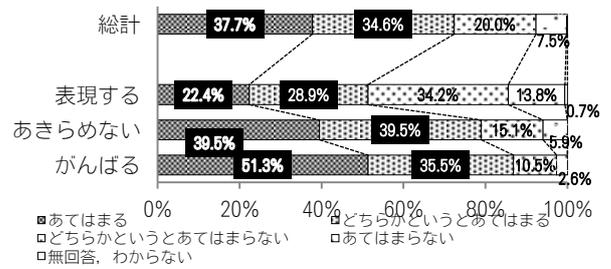
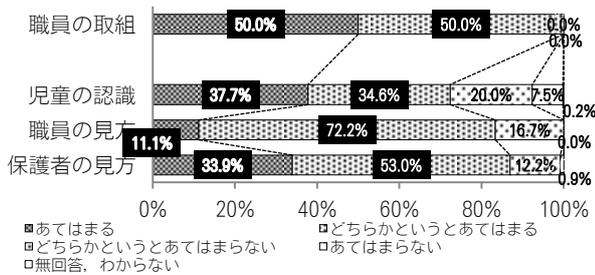
今年度は、そこに変化が現れました。職員は理解できている児童が増えていると認識しています。また、取組で「あてはまる」が50ポイントを超えています。自信を持って指導に取り組み、その成果も少しずつ見えてきています。今後も、基礎・基本の習熟に重点を置き授業を進めていきます。また、身につけた力を活用できるように、言語能力の育成に重点を置いて指導を進めていきます。

参考に総合的な学習とチャレンジタイム・読書タイムがためになるか」についての児童の集計結果も載せておきます。



### 4 自分自身のよさを感じ、課題に進んで取り組もうとする意欲や感情が育っている。

- 保護者・職員
  - ・ 子どもには自分自身のよさを感じ、課題に進んで取り組もうとする意欲や感情が育っているか。
- 児童
  - ・ 授業で自分の答えや考えを発表することが好きです。
  - ・ 難しい問題でも、すぐにあきらめないで、考えてみます
  - ・ 授業や勉強がもっとわかるようになろうとがんばっています。

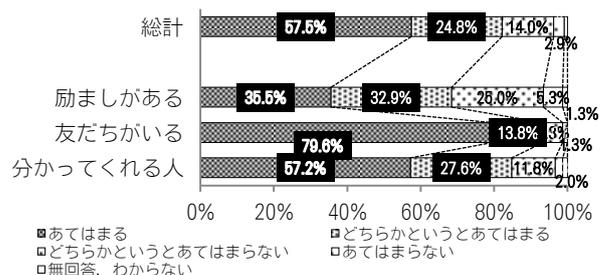
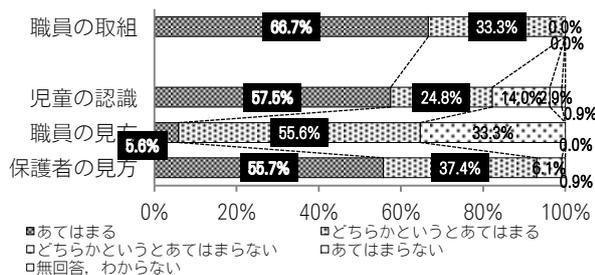


昨年度の似た設問と比べ、職員の見方の「どちらかというにあてはまる」の回答が増え、職員の見方、保護者の見方のプラスの回答が同じ傾向になりました。これは、児童が「これならできる」という思いを持ち課題に挑戦をし、結果「やれた」を味わえる機会を、家でも学校でもつくっているからと考えます。学校も家庭も同じ思いで、児童に接しているからこそ、さまざまな場面で、児童のがんばる・あきらめないが増えてきていると考えます。とてもうれしいことです。職員の見方の「あてはまる」が少ないのは、もっともっとあきらめないでがんばってほしい気持ちの現れです。

心配なことは、「表現をすること」に対する児童の苦手意識が高いことです（右上のグラフを参照）。萩山小学校の児童の多くは明るく元気です。おうちの方からみていて、授業参観や運動会・音楽集会での様子はどうか映ったでしょうか。よくやっていると感じられることが多かったのではないのでしょうか。ただ、普段の授業での話し合い、ものごとの説明をする、意見を述べ合うなど（言語活動）になかなか自信を持っていない子が多い気がします。職員は、普段の授業で、言葉で表現をする活動に重点を置いています。職員の見方と取組の「あてはまる」の回答の差がそこに現れています。来年度も、さまざまな授業で「言葉を使って表現する力」の充実に力を入れたいと考えます。

## 5 子どもたちは大切にされていると感じている。

- 保護者・職員
  - ・ 子どもは、友だちや周りの大人に大切にされていると感じている
- 児童
  - ・ まわりの人からほめられたり、はげましたりしてもらえます。
  - ・ なんでも話をしたり、遊んだりできる仲のよい友だちがいます。
  - ・ わたしのことを分かってくれる人や話を聞いてくれる人がいます。

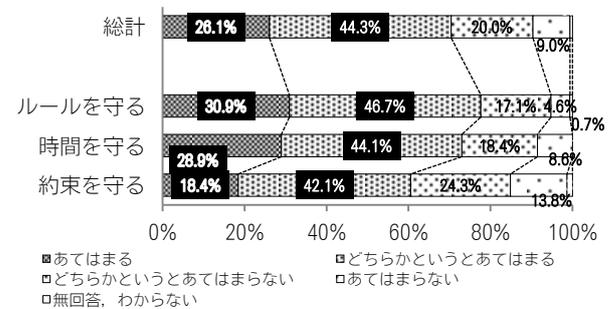
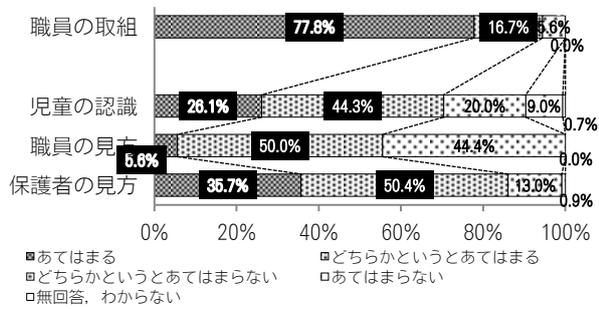


子どもたちの4人に1人がプラスの回答をしたことに少し安心しました。特に友だちがいる、分かってくれる人がいるについてプラスの回答がとても高かったことで、何かあった時に相談できる相手を持っていることを確かめられました。ただ、職員は、普段の生活の様子からうまくコミュニケーションがとれず、悩んだときやトラブルのときに解決できない児童が多いのではと思っています。また、すぐに「どうせ・・・」「もういやだ」「やれない」と口にする子が多く、自己有用感や自己肯定感を高めてあげることができていないという気持ちが、職員の見方の「あてはまる」の低さに現れています。

ささいなことでもできたことをほめる・励ますことで、学校でも家庭でも、長所をいかし自信をもって生活できる場面が増えると思います。他から承認され自信を持つことができれば、子ども達はその経験を生活に進んでいかそうとします。今後も、児童がほめられた・励まされたことを実感でき、次の課題を解決する意欲や感情を高めていける工夫をしていきます。また、友だちや分かってくれる人がみつけれない児童のフォローを心がけ、教育相談や声かけを充実していきます。

6 子どもには、社会や学校のルール・きまり、時間、約束を守る力が身についている。

- 保護者・職員
  - ・ 子どもには、社会や学校のルール・きまり、時間、約束を守る力が身についている。
- 児童
  - ・ 学校のルールやみんなで決めたことを守って生活をしています。
  - ・ チャイムが鳴る前に、学習の準備をして、授業の始まりを待ちます。
  - ・ 宿題や用具を忘れることはありません。



昨年度同様、児童には、具体的な学校生活の場面での設問をしました。

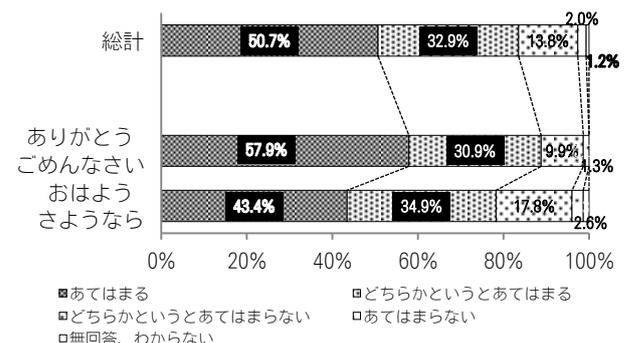
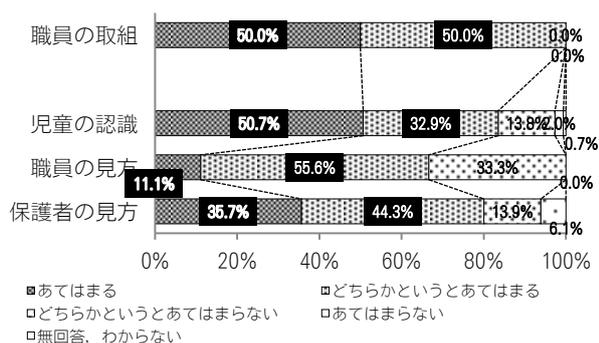
「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」のプラスの回答について、昨年度は、児童の認識が 80 ポイントを上回り、職員の見方が 30 ポイントを下回っていました。また、職員の取組の「あてはまる」は 40 ポイントでした。これに対し、本年度は、児童の認識が 70.4 ポイント、職員の見方が 55.6 ポイント、職員の取組の「あてはまる」は 77.8 ポイントでした。

この結果より、今年度は、児童が自分の生活を客観的に振り、「できている」「できていない」がはっきりとわかるようになった。また、職員の指導も充実し、その効果が現れてきているととらえることができます。

学校は、子どもたちがどんなコミュニティに所属しても、自立できる力を身につける練習の場です。所属するコミュニティのルールを守ること、時間を守ること、約束を守り守ることは、いついかなる場面でも必要な力です。今後も、当たり前のことを当たり前でできる人になるために、ルール・時間・約束を守る力を、さまざまな場面で伸ばしていきたいと考えます。

7 気持ちのよい笑顔や声であいさつや返事ができる力が身についている。

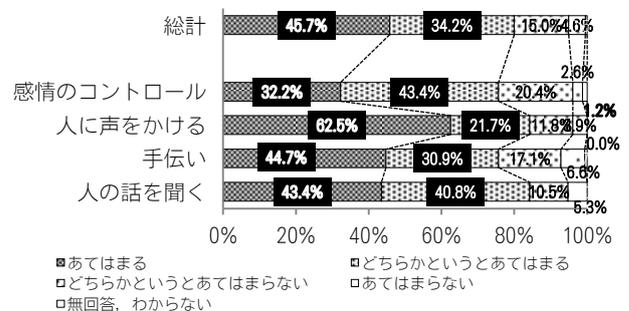
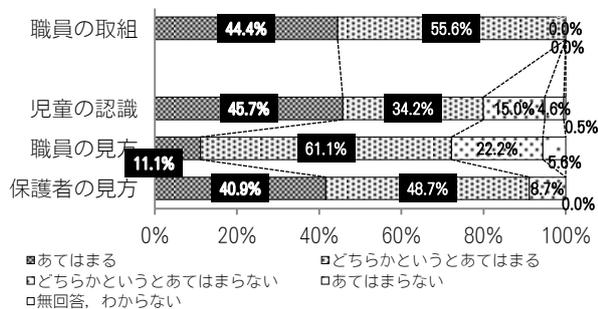
- 保護者・職員
  - ・ 子どもには、気持ちのよい笑顔や声であいさつや返事ができる力が身についている。
- 児童
  - ・ 「おはよう」「さようなら」などのあいさつが、気持ちのよい笑顔と声でできます。
  - ・ 人に何かをしてもらったときには「ありがとう」、失敗をしたときに「ごめんなさい」が、言えます。



あいさつについて、児童の認識も保護者の見方もプラスの回答が昨年より増えました。しかし、職員の見方は、「どちらかというとはまる」から「どちらかというとはまらない」20ポイント動きました。丁寧な言葉で職員室への入室ができていなどスキルとしてのあいさつは身につけてきています。そこからステップアップして、時と場に応じたあいさつができる力を育てていきたいと考えます。

## 8 周りとのコミュニケーションをとる力や思いやり（対人スキル）

- 保護者・職員
  - ・ 子どもには、人を思いやる気持ちややさしい気持ちが育ち、相手やまわりの人のことを考えて行動する力が身につけている。
- 児童
  - ・ まわりの子のことを考えて、自分の気持ちをがまんできます（感情のコントロール）。
  - ・ まわりの子を勉強や遊びにさそうことができます（人に声をかける）。
  - ・ そうじ当番・係の仕事を、家ではお手伝いを、すすんでしています（手伝い）。
  - ・ 人が話をしている時に、その話を最後まで聞くことができます（人の話を聞く）。

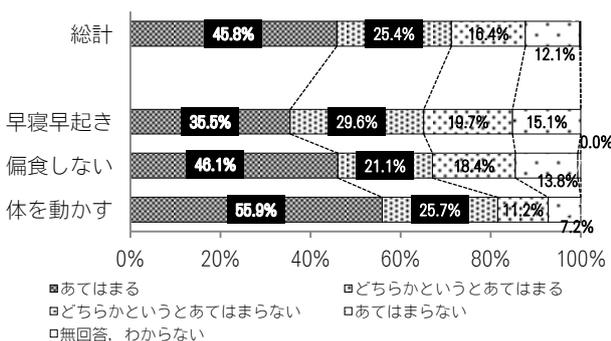


昨年度に比べ、職員の見方のプラスの回答が25ポイント近く増加しました。児童・職員・保護者の回答の差が少なくなり同じ傾向になってきているのが、今年の特徴です。よい方向へシフトしています。

普段の学校生活で、自分の思いや考えをうまく伝えられないために、ささいなことでトラブルになり、ときには暴力をふるってしまう。そういうことが少なからずあります。そんな時には、一つ一つ丁寧に対処する方法を教えるようにしていきます。また、教科の指導の中でも、SST（ソーシャルスキルトレーニング）の手法を取り入れた活動を進め、コミュニケーション能力を高められるようにしています。これからも学校生活全般で、対人スキルを高めたいと考えます。

## 9 生活習慣について

- 児童
  - ・ 早寝・早起きをするようにしています。
  - ・ すききらいなく、食事をするようにしています。
  - ・ 学校でも家でも、進んで体を動かすようにしています。

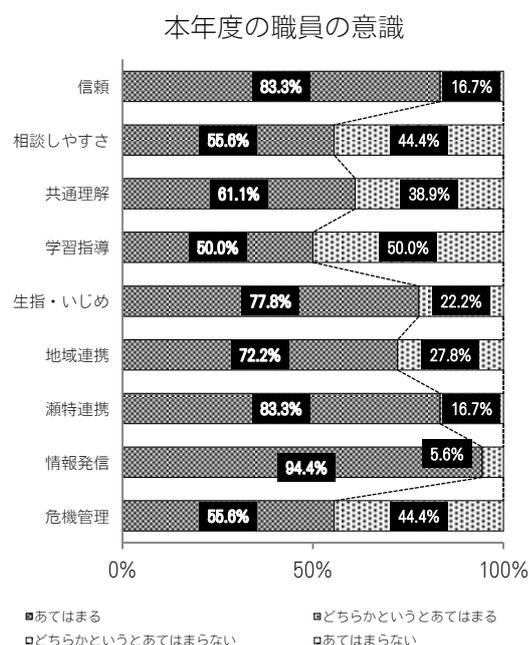
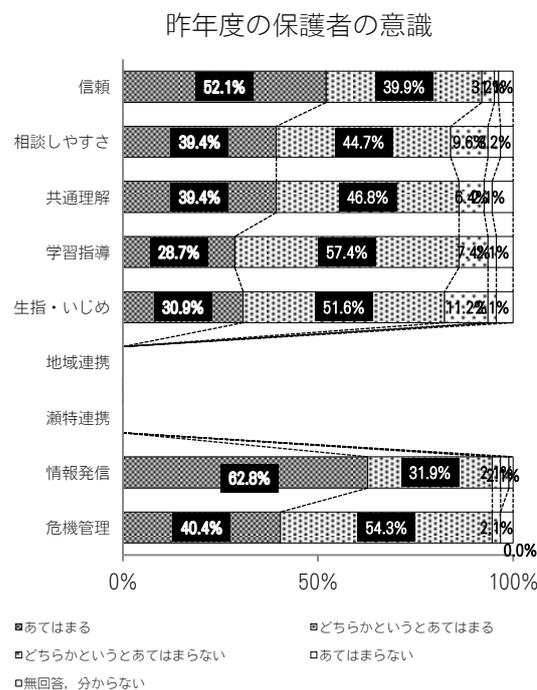
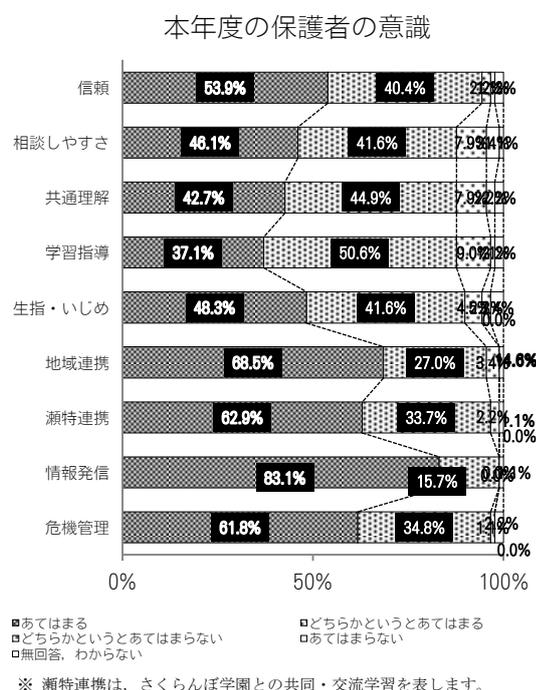


昨年度に比べ、早寝・早起き、偏食しないについて、プラスの回答が3ポイントほど下がりました。また、進んで体を動かすについて「あてはまる」の回答が15ポイントほど下がっています。雨降り後に運動場が使えないときなど、とても悔しがる様子からは、そのようには感じないのですが。この他にも、生活習慣について、う歯の割合が他の学校と比較して高いなど、気になることがいくつかあります。保健指導に関して、学校での指導はもちろんですが、ご家庭への啓もうを進め、協力を得て、健康に対する意識を高められるようにしていきます。

# 平成26年度「学校評価」について No.4

【10 萩山小学校の教育活動全般について、11 保護者のみなさんの自由記述より】

## 10 萩山小学校の教育活動全般について



設問「萩山小学校は、信頼できる学校である」について、肯定的な回答が94.3ポイントになりました。また、どの設問も、昨年度より肯定的回答が増え、「どちらかというあてはまる」から「あてはまる」にシフトしています。萩山小学校の学校運営にご理解をいただき、信頼・協力いただいていると感じました。うれしかったです。ありがとうございます。

特に地域との連携や瀬戸特別支援学校（さくらんぼ学園）との共同学習は、児童が成長した時に間違いなく生きる経験として、本校の強みととらえています。保護者のみなさまも同様に感じてくださっています。

この結果から、職員一同、自信を持って現在の取り組みを継続・発展させていきます。また、ご意見やご要望をいただいた際には、真摯に受け止め、改善をしていきたいと考えております。何かありましたら、是非、お伝えください。

最後に、昨年度と同じことを記します。学校は、子どもを真ん中に据えて、職員、保護者、地域が共同して活動をしていかななくては成り立ちません。子ども達が、将来、自立し生き抜く力を身につけるために、今後とも萩山小学校へのご支援、ご協力をお願いします。

次のページに「保護者のみなさまの自由記述」を載せました。参考にご覧ください。

\* 萩山小ホームページ【<http://www.city.seto.aichi.jp/education/school/ehagiyama/>】を充実させています。PC・タブレット・スマートフォンからもご覧いただけます。もちろんこの学校評価の結果もアップしています。【瀬戸市立萩山小学校】で検索をしてください。

## 11 保護者のみなさんの自由記述より

保護者のみなさまからいただいたアンケートの自由記述をまとめました。学校職員としてうれしい記述・厳しい記述いろいろありますが、保護者のみなさまの思いとして載せさせていただきます。

自由記述で保護者のみなさまの言葉がいただけることはみなさまの目が学校や子どもにむけられているからこそと考えます。それが、萩山小学校の教育活動をよりよいものにしていく上で、大切な力になると考えます。今までにお渡しした集計結果とともにこの自由記述に目を通していただけるとよいかと思ひます。そして、読まれた後のご感想やご意見もぜひお聞かせください。

なお、\*印のついた文章は、学校としての考えや思いを記したものです。

- ある意味国際的なので、語学や道徳をうまく活用できればよいと思ひます。
  - 1クラスで長く過ごしてきたことにより、低学年ではできていたことが、できなくなっているように思ひます。長く付き合っている間に何をすることも仲間感覚でことを済ませて、慣れ合いになっているように思ひます。思春期ということもあるかもしれませんが、もう少し周りのことを考えて行動してほしいと思ひます。
  - 学校生活・道徳・学習のことですが、日本人以外の親子が増えているので、ふつうの小学校との差を感じています。日本とは異なる道徳感を持った外国の方もたくさんいることを体験できる点はよいと思ひます。
  - 学校は楽しんで通っている。時間にルーズなところがあり、また集合時間も年々変化するため、朝の時間に対して心配なところがある。いろいろ子どもたちのイベントがあるが、土・日はクラブ活動で、なかなか参加できないため、残念に思うところも多い。
  - 夏休みの学習会のおかげで、夏休みの宿題が自分でできたことがありがたかったです。
  - 夏休みのラジオ体操（地域の方の主催）と学習会（地域の方も協力）について、地域の方と学校の先生方の協力がとても大きく、ありがとうございました。学習会に参加して、学習面でも成長を感じました。来年もぜひお願いしたいです。
  - 多くの行事がどうして縦割り班なのかかわからない（特に運動会、子どもは全然楽しそうに見えない）。
  - 萩山小は地域の人々と協力し、毎日の学校生活が充実しているためか、子どもたちも学校は好きと言っている。
  - 幼稚園から小学校に入るときは、不安もありましたが、今は親子で萩山小へ通えてよかったと思ひます。地域の子育てグループとも連携しているし、子育てをここ萩山台でやりたいと強く思ひます。
- \* 小規模校であるデメリットは、いくつもあります。それでも、さくらんぼ学園（障がいを持った子）、外国籍の子、地域の方との共生ができるという大きなメリットが萩山小学校にはあります。他の学校にはない本校の強みです。この環境で6年間過ごすことが、どの子どもたちにとっても大人になった時の大きな糧になると確信しています。これに加え、小規模校のメリットである、個々の子どもたちに関われる時間が多い、また、職員がすべての子どもたちのことを把握し接しられることを最大限生かし、子どもたちを育てていきたいと思ひます。さまざま人とともに暮らしていること、そして支えられ、支えていること、これが当たり前のこととなる学校運営を今後も進めていきたいと思ひます。
  - 毎日の宿題で漢字や計算をしてもらえるので、テストでも身につけてきたかなと思ひています。漢字やひらがなもいい加減に書くことがありますが、先生が正しく書いてくれるので、ふり返りができていいです。
  - 今は特にありません。子どもはすごく信頼しているから安心しています。
  - 先生に言われた言葉に傷ついていることが多いなあと思ひます。子どもたちの気持ちを考えて言葉を発してほしいと思ひます。
  - 給食の牛乳を毎日飲まなくなったら、アトピーが出なくなり調子がよいのですが、子どもが先生に、なんで飲めないの？ とよく聞いているようなのですが、先生には説明が伝わらなかったのでしょうか？ 牛乳アレルギーではないので、ヨーグルトなどケーキも食べられるのですが、それがおかしいといわれると、子どもも落ち込んでいる時があるので、わかっただけとうれしいです。
  - 担任以外の先生はとても遠い存在でしたが、萩山小学校では、他の先生も声かけや見守りをして

くださって、うれしく思います。

- ・ このような調査をする前に他にしなければならないことがあるのではないかと思います。
- ・ 先生との相談がなかなかできない。役員とかをしていないと共有できない気がします。
- ・ 担任の先生をはじめ、大変お世話になり日々感激の一言です。安心して子どもを学校へ行かせることができます。特に心配事や不満もありません。毎日学校へ行くのが楽しいようで、行きたくないと言ったことは一度もありません。先生方やクラスメイトのおかげと思っています。ありがとうございます。今後もよろしく願います。
- ・ 家で生活では、子一人ですので、学校での様子を教えてもらえてありがたいです。そのあとに様子がおかしい時など子どもの話を聞いて寄り添ってくださりありがとうございます。

- \* 職員が励まされるご意見を数多くいただきました。今後の指導にも自信を持って取り組んでいきます。また、おうちの方の思いや考えを知ることができます。ありがたい限りです。厳しいご意見も真摯に受け止め、これからの教育活動にいかしていきます。

学校ではさまざまなことが起こります。職員もことの軽重を考え、ご家庭に連絡を入れるべきか入れないべきか、悩むことがあります。保護者のみなさまも同様と思います。

大切なのは、保護者のみなさんと職員が共通の認識を持ち、子どもたちに接することであり、どんな子に育てたいか、同じ方向を持ちたいと考えます。そのためにも、ささいなことでもかまいません。躊躇されず、ご連絡や相談をください。

- ・ 授業の意味がわからなくて隣の人としゃべってしまいます。テストの点数が低くていつも意味がわからないと言っているのが心配です(外国籍)。
- ・ 最近、テストの点が悪いので心配。内容が理解できていないのではないかと思います。どう勉強させようか？
- ・ 学校が楽しく勉強ができるのであればそれでいいです。
- ・ 学力面を見ると、個人差が大きく、教えるのが難しい状況にあるのではないかと思います。
- ・ 1学年1クラス、外国籍の方も多い、学習のレベルが他の小学校に比べ下がるのではないかと正直心配もします。中学校に進んだときに萩山小学校出身の子はちゃんとしていけるのか？

- \* 保護者のみなさまが心配される学力向上は、職員の回答からも、本校の重要な課題です。

アンケート結果からも、重要な課題であるという認識が高まっていることが分かります。職員も効果的な学習指導を工夫しながら行っています。基礎・基本については、繰り返し継続して学習することが一番の近道と考え、今後も、午後の授業の前のチャレンジタイムで、基礎・基本の習熟に力を入れていきます。また、スモールステップの学習や言語活動の充実を意識して、指導力の向上を図りながら、授業を進めています。

学力向上には、ご家庭の協力が欠かせません。まず、宿題を必ずやる習慣、用具の忘れ物をしない等、学習の基本を家でも見ていただけるとうれしいです。

- ・ 友達にいやなことをされて、なんとか自分で解決しようと思いますが、やめてくれない場合は、どうすればよいか悩む時がある。
- ・ 小学生を見ているとスマホやゲームをしている姿ばかりで、外で体を動かしたりしている子は少なく、時代の変化なのか知らないが、この先が不安に思います。
- ・ あいさつが返ってこないことが多くあります。
- ・ 言葉遣い、あいさつなどできない子どもたちがあまりにも多過ぎると思います。もっと真剣に子どもたちの未来を考えて教育にのぞんで頂きたいです。
- ・ 子ども同士の乱暴な言葉遣いでやり取りがよく見られます。

- \* 生活指導について、あいさつ・言葉遣い・コミュニケーション・・・、職員も保護者のみなさんと同様のことを感じている面があります。「いじめ」への対応を含め、最も大切なことは、間違っただ行動を身につけてしまう前に、よりよい対応の方法を身につけ、当たり前のことを当たり前にできる力をつけることが大切と考えています。

次の3点を重点的に取り組みます。① いけないことはいけないとする毅然とした指導、② コミュニケーション能力の育成、③ 自己肯定感・自己有用感等を高める活動や言葉がけです。

普段の授業や行事で上記3点を意識した活動を進めます。

また、スクールカウンセラーの活用、教育相談、ソーシャルスキルトレーニングの積極的な実施を進めます。特にスクールカウンセラーを相談等で

保護者のみなさまにも積極的にご活用していただけるとうれしいです。

- メールでの連絡がまめに届くので、行事の把握などがしやすいです。今後も継続してほしいです。
  - こまめにメールをくださるととても助かります。
  - HPは毎日欠かさず見させていただいています。ほかの学年の様子もわかって楽しいです。祖父母も楽しみといって毎日見ているようです。
  - HPは毎日の楽しみです。学校の様子が見られるのがうれしい。
  - 子どもが学校のことをあまり話さないのに、HPを見て子どもに聞いたりして会話が生まれるので、毎日の更新を楽しみにしています。
- \* 今後も積極的な情報発信を行っていきます。萩山メール（まち comi）は、不審者情報ばかりでなく、さまざまな情報をお伝えしていきますのでよろしく願います。また、萩山小HPで、学校の様子について、どなたにも分かっていたらよいよう、充実を図っていきたいと思います。
- 夏休みのプール開放で、通学班で時間等を決めているにもかかわらず、プールにいかない高学年の子が時間になっても来ず、低学年の子たちが不安な顔をして待っているのを、どこの棟でも見かけます。通学班でプールへ行くと指導するのなら、休む・いかない等をきちんと連絡するべきだと思います。  
\* 来年度、安全に登校できる方策を考えます。
  - 子どもの写真を購入する機会があればいいと思います。  
\* 現時点で学校が写真の販売まで行うことが難しいです。学校の様子はHPでお楽しみください。
  - いつも給食の時間が足りないということを聞きます。  
\* 給食の時間は45分間です。中学校では40分となります。時間内に食べられる力をつけさせていきます。
  - 放課後や休日にグラウンドや体育館（雨の日も）が使用できるといいなと思った。  
\* 平日の放課後は、学校に関係するバスケットボール部、サッカー部、その他（移動児童館）に開放しています。休日は、地域・学校が関わ

る行事、バスケットボール部、サッカー部の利用を優先し、その後、瀬戸市の学校開放事業に登録されている団体に貸し出しています。

- ある保護者の方から、4月のPTA総会の際に集まりが悪すぎると指摘されました。保護者が学校について関心がないことに驚いておられました。総会の内容には興味がありますし、先生の紹介は毎回とても楽しみにしています。しかし、時間帯や下の子どもの預け先がなくて、出席できないなどの理由で、出席したくてもできない人も多く存在すると思います。実際、下の子が1年生になると、習い事の送迎をしなくてはならず、出席できない状態です。せっかくの機会なので、総会に出席してもらえるように考えていただきたいです。指摘してくださった保護者の方は、総会の際に託児ボランティアを呼んでいる学校もあると教えていただきました。  
\* 先日のモアスクールについての話し合いで、児童に図書室を開放しました。総会の際に同様のことをできるかPTA役員会で話し合います。
  - モアスクールを設置してほしいです。
  - モアスクールができると助かります。  
\* この件に関して、PTAがすすめていきます。
- \* たくさんのご意見をうかがえました。ありがとうございました。この結果をご覧になってのご意見がぜひともほしいです。用紙をいっしょにお渡ししました。よろしければ記入し、ご提出ください。
- \* この結果は、来年度の教育活動にいかしていきます。今後も萩山小学校の教育活動にご支援とご協力をお願いいたします。

